

# 高石市教育委員会定例会会議録

(令和7年8月定例会)

## 開会及び閉会の年月日時

開 会	令和7年8月6日 午後3時05分
閉 会	令和7年8月6日 午後3時40分

## 会議に出席した者の職及び氏名

委 員	教 育 長 : 山 本 圭 作 委 員 : 佐 野 慶 子 委 員 : 西 村 陽 子 委 員 : 吉 村 文 一 委 員 : 西 村 朋 恵
事務局職員	参与併教育部理事 : 山 本 富 之 教 育 部 長 : 石 坂 秀 樹 教 育 部 次 長 兼 社 会 教 育 課 長 : 沼 守 政 光 教 育 部 次 長 : 山 崎 陽 子 教育部こども未来室長 : 家 村 美 雪 教 育 総 務 課 長 : 吉 村 智 博 学 校 教 育 課 長 : 菅 原 庸 晴 教 育 総 務 課 長 代 理 : 水 谷 亘 社 会 教 育 課 参 事 兼 課 長 代 理 : 舩 富 学 学 校 教 育 課 参 事 兼 教 育 研 究 セ ン タ ー 所 長 : 黒 井 将 典 学 校 教 育 課 長 代 理 : 山 川 喜 三 こ だ も 家 庭 課 長 : 乾 直 史 子 育 て 支 援 課 長 : 米 山 秀 公

## 議題及び議事の要旨及び議決事項

- ・ 議案第1号 令和7年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書（令和6年度対象）について

教育総務課長	<p>議案第1号「令和7年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書（令和6年度対象）について」説明します。</p> <p>本議案は、令和7年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書（令和6年度対象）について、別添の本編及び別冊資料のとおり決定することをお諮りするものです。</p> <p>なお、今年度の審議の流れについては、6月9日の第1回教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価委員会議終了後、点検評価報告書（案）の状態でご覧いただき、7月14日までに意見を頂戴したところです。</p> <p>7月23日の第2回教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価委員会議において、教育委員の皆様からいただいた意見を審</p>
--------	--

	<p>議し、とりまとめたものを本日議案として提出しています。</p> <p>それでは、本編をご覧ください。</p> <p>1 ページから 2 ページには、「1. 点検・評価の概要」及び「2. 点検・評価の手法」について、掲載しています。</p> <p>次に、3 ページには、実施方法について、達成度（自己評価）として数値目標などについての基準を含め、記載しています。昨年度までは、達成度 100%のみを A 評価としていましたが、今年度からは 90% 以上を A 評価と変更しています。</p> <p>次に、4 ページから 11 ページには、「3. 教育長・教育委員会委員」、「4. 教育委員会会議状況」、「5. その他教育委員の活動について」、「6. 教育委員会事務局の組織」、「7. 事務局事務分掌」を掲載しています。</p> <p>次に、12 ページから 13 ページには、「8. 決算額の推移」として、令和 4 年度から令和 6 年度までの教育費及び民生費の決算額を前年度との比較と併せて掲載しています。</p> <p>次に、14 ページには、「令和 6 年度点検・評価シート」を掲載しており、点検・評価項目としては、学校教育課 9 件、社会教育課 8 件、教育総務課 2 件の合計 19 件となっています。また、達成度は、19 件中、A が 14 件、B が 5 件となっています。</p> <p>次に、15 ページからは、令和 6 年度の点検・評価の個別のシートということで、各担当課の主要事務について、「目的と令和 6 年度の目標」、「主な取組みと数値で表わされる実績及び効果」、「達成度」、「今後の見通し」、「自己評価の説明」及び「今後の課題」を各シートにまとめています。</p> <p>最後に、43 ページに「教育委員会としての総括」と「評価委員会からのご意見」及び「評価委員の名簿」を掲載しています。</p> <p>令和 6 年度は、新教育ビジョン初年度であり、高石の教育を前進させるよう取組みを努めてきました。また、ICT 機器を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る実践研究を進めてきました。7 年度においては、タブレット端末の更新を予定しています。</p> <p>社会教育活動においては、前年に引き続き公民館やたかいし市民文化会館等で様々な事業を実施しました。</p> <p>学校環境の整備については、高南中学校体育館床改修工事、東羽衣小学校体育館屋上防水改修工事、高南中学校給食棟防水改修工事を実施しました。令和 7 年度においては、小学校 5 校、中学校 1 校の外壁改修工事を行っています。</p> <p>また、資料については、別冊としています。</p> <p>なお、この点検・評価の報告書については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、9 月に開催予定の令和 7 年第 3 回市議会定例会において報告を行い、公表については、本市行政資料コーナー及び市ホームページで行いたいと考えています。</p>
吉村文一委員	<p>28 ページの生徒指導の充実の「自己評価の説明」のところで、小中学校ともに新規不登校者数が増加し、長期化しているケースについての改善やアプローチが困難になっていると評価されています。今後の課題のところでは、不登校に関して「校内教育支援ルーム」におけるオンラインの活用とありますが、昨年度からモデル校で数校実施していたと思いますが、令和 7 年度は、どれくらいの規模で実施されますか。</p>
学校教育課長	<p>「校内教育支援ルーム」については、令和 6 年度までは、加茂小学</p>

	校、高南中学校の2校で府の事業として実施してきました。今年度は、国の補助を受け、小学校は7校全校、中学校は引き続き高南中学校で実施しています。
吉村文一委員	特に不登校の子どもは、学校を離れると今の状況が分からないからよけいに登校しづらいというのがあります。オンラインで学校の状況が分かるのは、再登校の強い味方になると思いますので、是非充実して欲しいと思います
西村陽子委員	19ページから20ページの学力の向上の「今後の課題」のところの教職員アンケートで「子どもたちにchromebookを積極的に使用させている。」割合が令和6年度末73.9%という結果になっていますが、その残り約25%が減っていかない理由と積極的に使用できるようにどういう工夫を考えていますか。
学校教育課長	どの教職員においても以前よりかなり積極的に活用するようになってきていますが、不得意な先生の活用が今後の課題となっています。また、令和2年度から導入された端末が今年度の更新前ということで、機器の不具合等から活用が消極的になりがちなども要因の一つと考えられます。今年度、機器を更新するので、ICT支援員も活用が不具合の対応だけでなく、授業の中で活用する支援を充実させることにより、今後、さらに積極的な使用の数値を上げていく取組を進めていきたいと考えています。
西村陽子委員	もう導入されて5年たちますが、ずいぶんみんなに馴染んできたと思います。ただ使うだけではなく、子どもたちの学びに役立つような使い方をさらに工夫してほしいと思います。
山崎次長	まだまだ十分に使えていない教員もいますので、こういったところの支援を行っていかうと考えています。また、数値も現在7割強ですので、まだまだ上げていく取組を進めていきます。
吉村文一委員	31ページの就学前教育の充実の「主な取組と数値で表される実績及び効果」の②のところで、「ニュージーランドでの幼小の接続について知り、小学校教育への接続について学びを深めることができた。」とありますが、この点について、説明をお願いします。
学校教育課長	小学校1年生、幼稚園年長5歳児の時期を架け橋期として、教育課程の中でその接続をスムーズにすることが課題となっています。そこで、ニュージーランドでは、幼稚園と小学校が同じ建物内に入っていて、小学校1年生、園児が一緒に過ごすような機会が多く、交流が盛んで教職員同士の交流もあり、架け橋期のカリキュラムの工夫にとっても参考になることから、昨年度、夏の泉北3市1町就学前教員研修のほうで取りあげたものです。
吉村文一委員	高石市には、そういった小学校と幼稚園が同じ建物内はありませんが、日本ではそういった事例はあるのですか。
学校教育課長	具体的な数は把握していませんが、日本でも小学校と幼稚園が隣接した形とか、行き来が出来るような形のところはあると聞いています。そういうところでは、幼小の交流や接続の工夫が盛んに行われており、参考に出来る材料かなと思います。
西村陽子委員	今回、「今後の見通し」という欄が出来て、「2：改善して継続」が35ページに1つだけあり、その他は「1：拡充・継続」ですが、ここでは、どういう改善を行うのか説明して下さい。
次長兼 社会教育課長	まず、達成度（自己評価）がBの原因となった元気広場に係る学生ボランティアの確保に引き続き努めていきたいと考えています。改善点については、今後の課題の方に記載しているとおり、令和7年度から放課後に子ども達が安心して遊べる場を確保するため、試行的に高

	石小学校において、校庭を開放する事業を6月からスタートさせています。こういったことで改善していきたいと考えています。
佐野慶子委員	過去に取石中学校と加茂幼稚園が鴨公園でたこ揚げをするといった交流があったのですが、現在、中学校区で幼小中の交流は、どうなっていますか。
学校教育課長	今年度においても、小中連携推進支援事業で各中学校区において、連携しています。加茂幼稚園は、取石中学校区になっていますので、現在も幼小中の教職員同士、児童・生徒・園児同士の交流もメニューを変えながら引き続き実施しています。
山崎次長	基本的には、小中連携推進支援事業で加茂幼稚園については、取石中学校、取石小学校と交流していますが、加茂幼稚園は、中学校区に限らず市内全校と交流していますので、そういった支援を引き続き行っていきたいと考えています。
採決	可決

・報告第1号 教育委員会の後援等に関する報告について

教育総務課長	本報告は、高石市教育委員会の後援等に関する規程第2条第1項の規定に基づき処理したものについて、同条第2項の規定により、3ページ記載の社会教育課7件の報告をするものです。
山本教育長	報告があったものとして処理します。

・報告第2号 教育委員会関係諸行事等の報告について

各所属長	令和7年7月9日から令和7年8月5日までの当委員会関係諸行事について説明。
山本教育長	報告があったものとして処理します。

・その他報告事項 加茂小学校校舎及び体育館外壁改修工事における足場倒壊事故の発生について

教育部長	<p>令和7年8月5日12時40分頃、加茂小学校体育館東面に設置していた足場が倒壊しました。これによる怪我人は発生していません。</p> <p>直ちに、高石警察署及び泉大津労働基準監督署へ通報し、併せて、校舎等外壁改修工事を現在施工中の他の小中学校も再度点検を行い、安全性を確認するとともに、市ホームページにて事故の発生と謝罪及び再発防止について市民に対して情報提供を行いました。</p> <p>なお、同校の改修工事については、足場の安全性が確認できるまで足場を使用しない作業は中止し、足場の使用しない工程のみ施工することとしており、本格的な工事再開は未定となっています。</p>
------	--